

年 組 名前:

問1

「街の住みこちランキング 2022」甲信越版で、3年連続1位となった山梨県の市町村はどこですか。

.....

問2

1位となった市町村は、調査8項目のなかで、2項目が1位でした。その2項目を教えてください。

.....
.....

問3

あなたの生活している市町村を、今よりもっと住み心地をよくするには、どのようにしたらいいと思いますか。

.....
.....
.....
.....
.....

賃貸住宅建設大手の大東建託（東京都）が調査した「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2022」の甲信越版で、昭和町が3年連続で1位となった。住環境や交通の利便性が評価された。調査は山梨、長野、新潟3県の141自治体に住む20歳以上を対象に実

「住み心地」3連覇

甲信越 20歳以上調査

昭和中は112人が回答となった。調査した8項目のうち「生活利便性」と「物

価・家賃」の2項目が1位。中央自動車道甲府昭和インターチェンジや大型ショッピングモールがあるほか、公的な多目的施設もそろそろ利便性の高さなどが評価された。

山梨県内の次点は甲斐市の12位で、昨年の8位から順位を下げた。上位5位のうち1位以外は長野県の自治体だった。一方、山梨県居住者に、全国の自治体を対象に住みたい街を聞いた「住みたい街ランキング」は、1位が東京23区、2位甲府市、3位横浜市だった。ただ、回答者1206人のうち「住みたい街が特にない」（54・6%）、「今住んでいる街に住み続けたい」（16・2%）が合計で7割を超え、「今住んでいる街を評価している人が多い」（同社）としている。

〈古守彩〉

(2022年6月4日付 山梨日日新聞 22面)